

“NEWSPACE”

掲載における検索数の変化

（株式会社双葉社様事例）

本データは(株)双葉社様のご協力とご理解により提供しております

2008.02.25



株式会社ニュースペース・コム

掲載概要

平成14年の刊行以来、すでに24巻・累計650万部を突破し、平成の大ベストセラーシリーズとなっている『居眠り磐音 江戸双紙』（佐伯泰英 著・双葉社刊）の公式ホームページが平成19年7月11日に開設。

同タイミングでNEWSPACEでの連日出稿を産経新聞・文化面中心に7月12日より実施しています。

その際「居眠り磐音」「いねむりいわね」の2ワードでのヤフーとグーグルでのリスティング広告の発注もいただき、毎月検索データのレポートを発行しています。これまでに2回のワード追加を実施し、クリック率の向上を図っています。

本データは双葉社様のご理解とご協力をいただき、弊社の公式レスポンスデータとして公開しているものです。

産経新聞全国版にて掲載

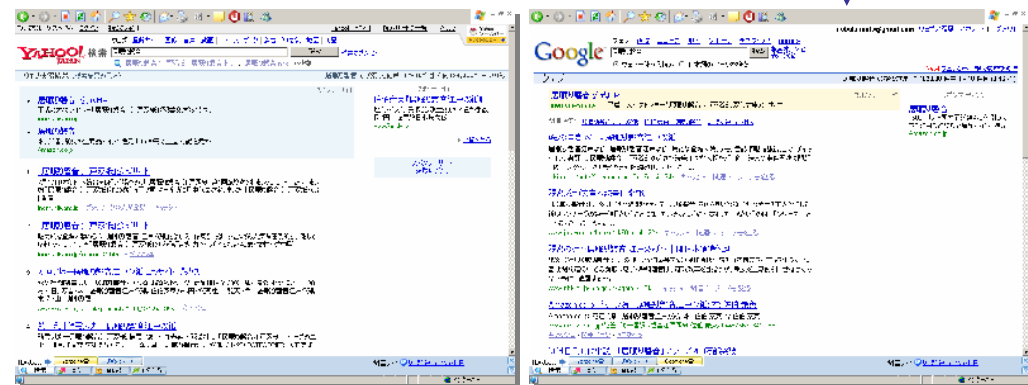


累計650万部突破! NEWSPACE
平成のベストセラー
居眠り磐音のすべてがわかる
ゆつまでも無料!
居眠り磐音
inemuriiwane.jp
おかげさまで60周年
双葉社

NEWSPACEから検索サイトを通じて公式HPに誘導しました。7月中旬～10月中旬まではNHKテレビドラマ、8月からは各新聞媒体等での告知も継続されています。



双葉社「居眠り磐音」公式HP



ヤフー・グーグル検索結果画面

overture & Google開始初月、7月の表示回数とクリック数

「居眠り磐音」
スペシャルサイト開設

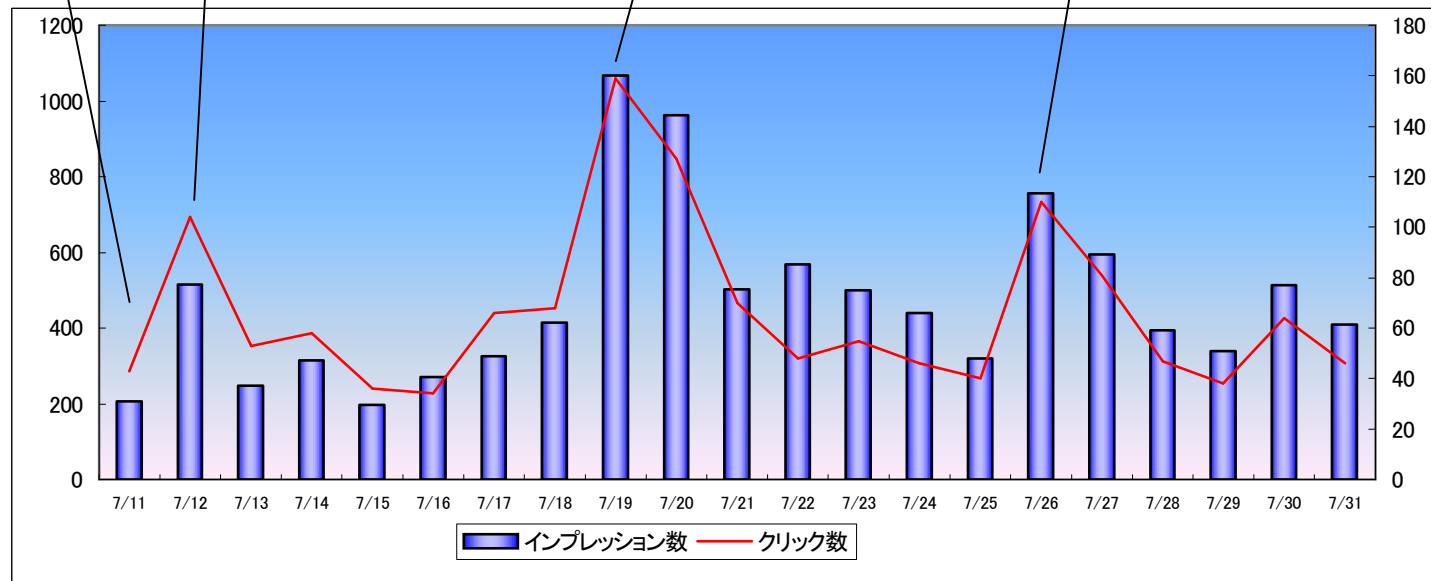
産経新聞にて
ニュースペース掲載開始

NHK木曜時代劇
『陽炎の辻』第1回放送

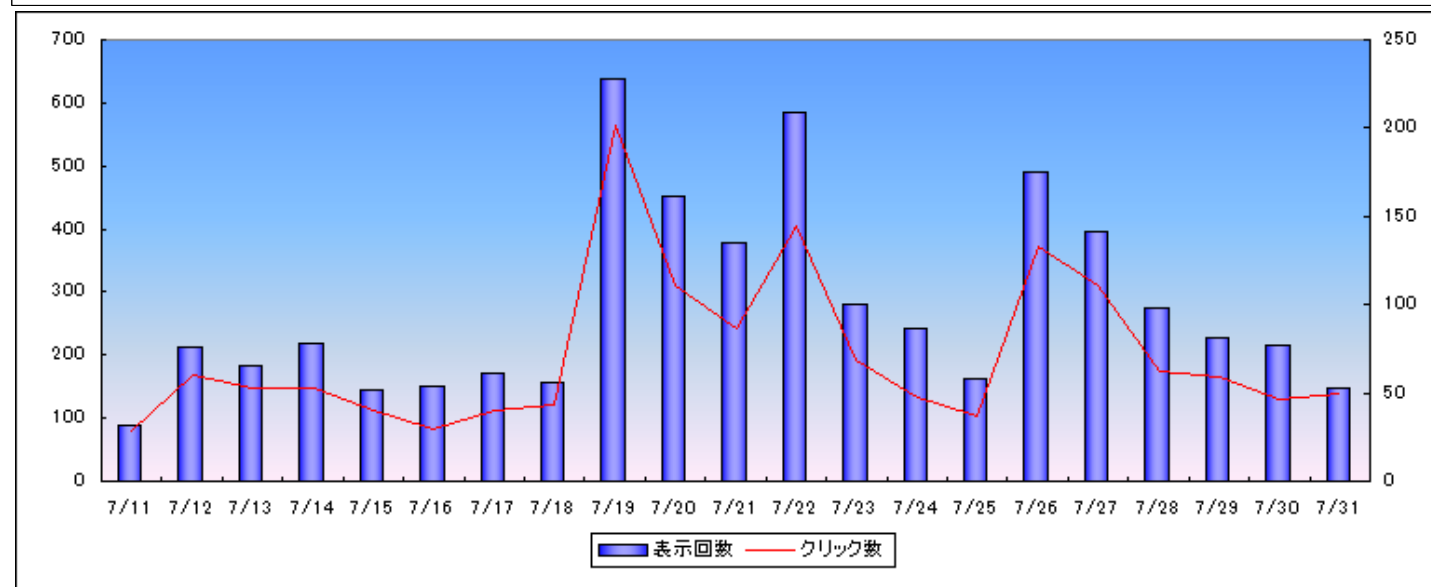
NHK木曜時代劇
『陽炎の辻』第2回放送



NEWSPACEは2007年7月12日～31日の間は連日掲載(7月30日のみ未掲載)



掲載開始から数値に向上が見られ、テレビ放映とともに認知が高まっています。サイト開設初月としては大成功に終わりました。

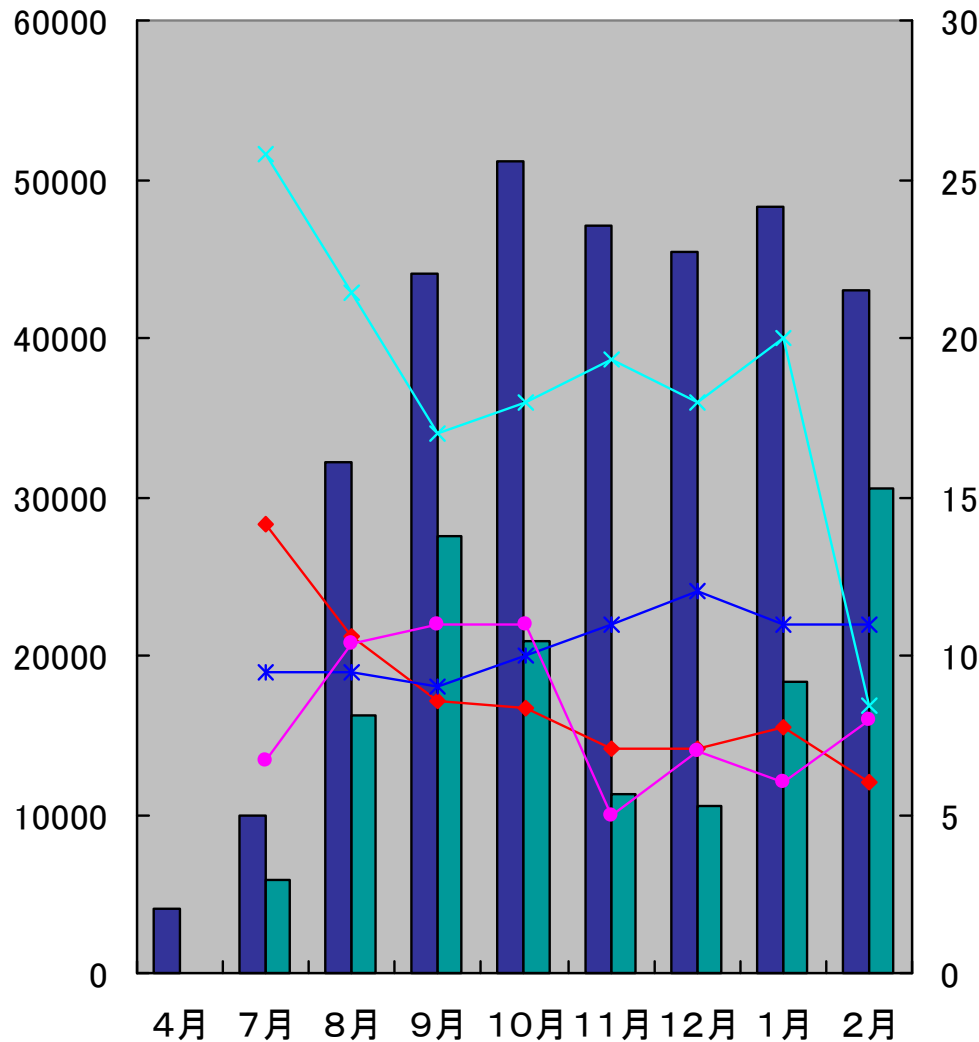


overture & Googleこれまでの表示回数とクリック率

(2007年7月12日～2008年2月29日)

**NEWSPACE枠は8月以降は東京版・大阪版にて
月平均25本をめどに継続掲載**

- 7月11日 サイト開設
- 7月12日 NEWSPACE掲載開始
- 7月19日 テレビ放映開始
- 8月中旬 ワード追加
- 10月11日 テレビ放映終了
- 1月下旬 ワード追加



NHK木曜時代劇「陽炎の辻」放映日
7月19日、26日、8月2日、23日、30日、9月6日、13日、20日、27日、10月4日、11日 (計11回放映)

ワードの推移
平成19年7月開始 (計2ワード)
「居眠り磐音」「いねむりいわね」
平成19年8月ワード追加 (計7ワード)
「居眠り磐音 江戸双紙」「居眠りいわね」「佐伯泰英」
「さえきやすひで」「陽炎の辻」
平成20年1月ワード追加 (計13ワード)
「居眠り磐ね」「時代小説」「坂崎磐音」「NHK時代劇 原作」
「時代劇原作」「山本耕史 時代劇」



調査結果総評

掲載初月である7月に関しては「NEWSPACE」掲載初日(7月12日)は、前日比でも倍以上の検索数が行われていることから掲載効果による検索数上昇がわかる。

7月12日以前の検索数(オーバーチュアの4月検索数字)と比較すると、7月12日~31日までの20日間(ニュースペース掲載)、オーバーチュアの検索数は**9655回(実績値)**、**1日平均=482回**だが、同年4月(4月1日~30日・30日間)の同ワードの実績検索数は**4043回(データソース:Overtureキーワードアドバイスツール)**で、**1日平均=134回**と、**約3.6倍**の検索数の増加がみえる。

テレビ放映前の12~19日に関しては「NEWSPACE」での告知のみの実施である。

「NHK木曜時代劇」放映日を中心に大幅にアクセス数が上がり、10月の放映終了日までは上昇が続いているが、放送翌日金曜日からの1週間、単調な右肩下がりではなく日によって検索数に上下の波があることや、NHKの放送が開始する前(7月12日~7月18日)も検索数が上昇しており、増加要因として「NHK時代劇」放送だけでなく、「NEWSPACE」掲載も検索数上昇に貢献していると考えられる。

テレビ放映から中央紙・スポーツ紙・夕刊紙を中心に広告での露出を増加させ、認知度のさらなるUPを図っており、2回の購入ワード追加もあいまって、効果的な検索誘導を保っている。当初の数値より下降はしているものの、クリック率、単価は依然効率のよい数値を維持し続けている。

「ニュースペース」を複数回、恒常的に掲載し、さらに他媒体(テレビ・新聞)でも検索数向上に繋がるような動きがあった場合、『クロスメディア効果』として刷り込みが浸透し、検索数上昇につながると想定される。

**NEWSPACE + α + 効果的なワード展開 =
クロスメディア効果で認知度がUP**